| | |
|---|---|
| No.とプログラム名 | NO.78　ダンボールで横浜のジオラマを作って、謎解きタイムトリップへ！ |
| 企業・団体名 | 一般社団法人防災ジオラマ推進ネットワーク |
| 実施日 | ８月４日（火曜日） |
| 会場 | 【中区】弊社会議室 |
| 対象学年と参加人数 | 小学４～６年生、参加児童数 22 人 |
| 参加の目的<br>（150 文字程度） | ジオラマを通じて、子どもたちに横浜の歴史・魅力・災害リスクについて知ってほしい。 |

●関内周辺の埋め立て等による地形の変遷について、皆で段ボールジオラマを使って再現。時代ごとに出される謎を解きながら横浜の歴史を学びました。
ゲーム後、現代のジオラマを見ながら危なそうな場所について参加児童に考えて発表してもらい、実際のハザードマップとの対比によって地形やその成り立ちと災害リスクとの関係についても学びました。





●児童の感想
・ジオラマを作るのが楽しかった・難しかった
・ジオラマを作りながら横浜の防災のことをもっと知ることができて良かった
・ジオラマを作りながら横浜の危ないところや標高が高い・低いところなどを知ることができた
・謎解きゲームが楽しかった
・謎解きゲームは難しかったけど、昔の横浜市のことも知りながらゲームできて楽しかった
・横浜市のことを知ることができた

●学生サポーターの感想
最初は子どもたちが発言したり作ってくれるか不安だったけど、どんどん意見を出しながらみんなで協力してジオラマを作ったり謎を解いたりしていてサポートいらずで本当に驚きました。私も昔の横浜についてジオラマや謎解きゲームを通して知ることができ、とても勉強になりました。今後は防災のことを意識しながら生活していきたいです。

●弊社の感想
例年よりもチームワークや課題解決の力が高かったように感じました（とくに１グループ目）。